

令和4年3月4日 (令和4(2022)年度第19号)



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<https://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

- 「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」 受講生募集中！
～保育のプロとしてゆるぎない知識・技術をみがく～
- 第48回全国保育士研修会（WEB）を開催しました

■「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」受講生募集中！ ～保育のプロとしてゆるぎない知識・技術をみがく～

令和3年度、国において設置された「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」の取りまとめでは、「人口減少地域等における保育所の在り方」や「保育所・保育士による地域の子育て支援」などにおいて、保育所等の専門性を活かした地域支援の展開等の取り組みについて、保育所等にこれまで以上の大きな期待が寄せられています。

そうした状況において、主任保育士・主幹保育教諭は、保育の質の向上および保護者支援、地域の子育て支援の推進に向け、高い専門性を活かし、組織や地域を牽引する立場にあります。また、園における人材育成や、意欲をもって働き続けられる職場環境づくりを担う役割も求められています。

全国保育士会においては、保育所等の中核を担う主任保育士・主幹保育教諭の専門性の向上が、保育の質の向上に直結すると考え、昭和62年より「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」を開催しています。

本講座は、1年間を通じて、講義とゼミ指導を行い、最終的に1つのテーマをご自身で決めていただき、研究を実施のうえ、修了論文を作成いただきます。多彩な講義はもちろん、講師による直接のゼミ指導が複数回行われることで、高度な専門性と指導性を身につけることができるとともに、全国に今後お互いに支え合う仲間をつくることができます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えませんが、感染防止対策を講じながら学びの機会を確保し続けることは重要なこととなっています。ぜひ、貴園からの受講をご検討いただくとともに、県内においても受講をおすすめいただきますようお願いいたします。

<講座の概要>

- ◆ 受講期間 令和4年4月～令和5年3月（1年間）
- ◆ 実施方法 ①講 義：Zoomを使用したリアルタイム配信
②ゼミ指導：参集による直接指導（都内会議室を予定）
 - ※ 感染状況により Web 実施とする場合があります。
 - ※ パソコンやインターネット環境等をご自身でご準備ください。
- ◆ 定 員 80名
- ◆ 受講料 120,000円

そのほか、講座内容の詳細は下記ホームページをご確認ください。

■全国保育士会トップページ > 研修会 > 「第34期 主任保育士・主幹保育教諭特別講座(WEB)」募集要項について

<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/kensyukai.php?id=98>

■ 第48回全国保育士研修会(WEB)を開催しました

令和4年2月21日、「第48回全国保育士研修会」を552名の参加を得て開催しました（配信拠点：全社協第3～5会議室）。

本研修会は、主任保育士・主幹保育教諭および保育所・認定こども園等のリーダー的職員を対象とし、その専門性・指導性を高め、保育実践・保護者支援の質の向上を図ることを目的としています。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンデマンド配信（録画配信）とした本研修会でしたが、本年度はリアルタイム配信で実施することができました。質問ができる環境を整えることにより、双方向性のある研修会となりました。

時間	内容
13:00～ 13:15	開会式 倫理綱領・食育推進ビジョン唱和 / 全国保育士会 研修部 菊池 美保 開会あいさつ / 全国保育士会 副会長 笠置 英恵
13:15～ 13:45	【基調報告】「全国保育士会の令和4年度の取り組みに向けて」 / 全国保育士会 会長 村松 幹子
13:45～ 14:15	【行政説明】「保育をめぐる国の動向と課題」 / 厚生労働省 子ども家庭局 保育課 児童福祉専門官 福島 猛 氏
14:30～ 16:00	【鼎 談】「やりがいと働きがいのある職場づくりに向けた人材養成」 中村学園大学 教授 那須 信樹 氏 社会保険労務士法人ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 氏 全国保育士会 会長 村松 幹子

（上記全体研修ののちに、コース別研修を実施）

時間	コース	テーマ・講師
16:15～ 18:15	A	「保育の見える化」に向けたドキュメンテーションの活用 大豆生田 啓友 氏 / 玉川大学 教育学部 教授
	B	職場における人間関係づくりと保育者のメンタルヘルス 津村 薫 氏 / フェリアン 副所長・講師

全体会では、本会の村松 幹子 会長が「全国保育士会の令和4年度の取り組みについて」をテーマに基調報告を行い、令和4年度の重点事業を中心とした本会の取り組みについて話したのち、行政説明「保育をめぐる国の動向と課題」として、厚生労働省子ども家庭局保育課 児童福祉専門官の福島 猛 氏に国の制度動向や検討会の状況についてお話しいただきました。

その後、「やりがいと働きがいのある職場づくりに向けた人材養成」をテーマに、鼎談を行いました。村松会長の進行のもと、那須 信樹 氏（中村学園大学 教授）より保育士養成校教員として、保育者養成の現状をコロナ禍における実習の状況や保育現場との連携等を踏まえて発言いただき、また、菊地 加奈子 氏（社会保険労務士法人ワーク・イノベーション 代表）には、社会保険労務士として、労務管理の視点を踏まえた働き方等について発言いただきました。やりがいをもって働き続けられる職場づくりについて意見交換を行い、参加者一人ひとりが自らの園での取り組みについて考える機会となりました。



(鼎談の様子)

後半のプログラムとしては、参加者が希望するコースに分かれ、コース別研修会を行いました。

Aコースでは、「『保育の見える化』に向けたドキュメンテーションの活用」をテーマに、大豆生田 啓友氏（玉川大学 教育学部 教授）からご講義をいただきました。ドキュメンテーションは、その作成のプロセスにおいて自らの保育を振り返ったり、他の保育者との対話で子ども理解が深まるなど、保育の質の向上につながるワクワクするツールであるとの解説がありました。また、講義の後には、複数の園より取り組みの発表をいただき、その取り組みを通じてより実践的な方法を学ぶなど、理解を深める機会となりました。

Bコースでは、「職場における人間関係づくりと保育者のメンタルヘルス」をテーマに、津村薫氏（Felien [フェリアン] 副所長、講師）からご講義をいただきました。

保育職場での人間関係の現状を踏まえた「働きやすい職場環境整備」のためのチームづくりの手法や、より良い関わりのためのコミュニケーションのとり方を事例を交えて紹介いただき、それらを現場で効果的に活かしていくためのリーダーのあり方や新任・中堅職員への対応も助言いただきました。講義の後半では、Zoom のチャット機能を利用し、参加者に質疑を求めたところ、リーダー層が現場で抱える悩みや職場管理の苦悩が多く寄せられ、津村氏が質問を読み上げて回答することで、即効的に現場実践につながる有意義な内容となりました。